

Iリーグ 決勝Tへ!!!

激アツ!

Iリーグを戦う駒大イレブンに残り1試合を残し、Cブロック暫定2位につける。決勝T進出権が与えられる3位以上は既に確定し、最終節も格下茨城大との対戦で2位突破は濃厚となっている。昨年、全国大会まであと1勝で涙を呑んだ駒大は、どのような気持ちで決勝Tを迎えるのだろうか。



Iリーグの守備の要・森本。トップ下・ボランチもこなす攻撃力と的確なコーチングを兼ね備え、チームの中心的存在となっている。(撮影・星 宏樹)

超えるべき壁

「全国に行きたいと言うか、今のメンバーともっとサッカーをしたい。そのために全国という目標がある」チームを引っ張る4年の小野川は言う。「今のメンバーともっとサッカーをしたい」それは負ければ引退となる4年生だけではなく、サッカー部全体の共通見解だ。Iのチームとしてではなく、駒大サッカー部として、その思いを背負っているからこそ、Iのチームはアツい試合をする。

藤井はこうも話す。「自分たちが全国に行くことはBチームとかCチームのモチベーションになるから。」勝ちきれずにもがいているトップのチーム事情からか、今季Iからトップ昇格した選手も多い。湯川、中山、那倉、田村:Iリーグ戦のピッチに立った彼らの姿は間違いなくIのチームに勇気を与えたはずだ。次はIリーグの番、自分たちと同じく応援席からIリーグ戦を見つめる仲間達に、俺たちもできるんだということを証明する番だ。

予選リーグでは上位陣相手に勝ちきれないという課題が露呈した(上位6チームに対し3勝2分1敗、このうち専大C戦は没収試合による駒大の勝利)。「強い相手に対していかに点を取って勝つかが課題」と藤井も口にする。全国という壁は険しい。決勝Tでは予選リーグと比較にならない強敵が揃う。それでも彼らはその壁を超えなければならぬ。4年生とサッカーを続けるため、トップチームへ昇格するために超えなければならぬ壁なのだから。

(星 宏樹)

Iリーグひとくちメモ

予選リーグはA、B、Cの3つのブロックで争われる。決勝Tに進めるのは各ブロックの2位以内と3位チームのうち勝ち点が多い2チームの計8チーム。決勝Tで2位以内に入れば全国大会への出場権が得られる。

チームを支える4年コンビ。

【左】このチームのキャプテンを務めるMF小野川は学連の仕事もこなし部内でも重要な役割をこなしている。

【右】裏への飛び出しに秀でるFW藤井。最高学年としての彼のゴールはチームを勝利へと導くはず。

責任

